

平成29年11月29日

幹事長談話

東京都議会自由民主党

幹事長 秋田 一郎

本日午前3時18分頃、北朝鮮は、弾道ミサイルを発射し、我が国の排他的経済水域内、青森の西およそ210キロに着水した。

北朝鮮による度重なるミサイルの発射は、国連安保理決議等への明白な違反であり、許し難い暴挙である。これは、北東アジア及び国際社会の平和と安全を著しく脅かすものであり、断じて容認することはできない。

政府においては、高度の警戒態勢を確立し、国民の命と平和な暮らしを守り抜く決意を持って、迎撃態勢構築とともに、都民・国民への迅速・的確な情報伝達体制を強化することを強く求める。

あわせて、拉致問題、核廃棄といった諸懸案の解決に向け、断固とした対応を取るよう、強く求めるものである。

また、現在活動を休止している、都議会の「北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を図る東京都議会議員連盟」を早期に再開し、第20期都議会が一致団結し、超党派で、拉致問題の解決に全力で取り組むよう、訴えるものである。